

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 応募論文から ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

論文賞

鳥取敬愛高等学校 3年 山根 結佳(SI鳥取 推薦)

私は将来、栄養教諭になりたいと考えている。中学生の頃から栄養士になりたいと考えていたが、現在生活教養科フードデザインコースで栄養や食品について専門的に学んでいく中で、その楽しさを知り、私も子どもたちにその楽しさを伝えたいと考え、栄養教諭を目指すようになった。子どもたちの前に立つためには知識や技術、コミュニケーション力はもちろん、周囲の状況に目を配ることができる力が必要だと考えている。

目標を定めた時から、教科の勉強だけでなく、様々な人と関わりながらコミュニケーション力を高めていきたいと考え、ボランティア活動を行うSクラブと写真部で活動をしている。両親の経済的負担を軽くしたいという思いからアルバイトも行っている。ボランティア活動にも積極的に参加し、同世代の人だけでなく、小さな子どもとその保護者と交流を行った。子どもにわかりやすく伝える言葉選びや、安全で楽しみながら活動できる工夫を行うなど、限られた時間の中で貴重な体験をさせていただいた。活動後の子どもと保護者の満足そうな笑顔を見て、自分の成長を感じるとともに、満足感と充実感を味わうことができた。

私は人と関わるのが好きである。今まで出会った人の良い言動は真似をし、悪い言動は自分を戒めるなど、良くも悪くも人から学ぶことが多いと感じるからだ。接客業のアルバイトは、自分の未熟さを痛感し、反省を行うことの繰り返しだった。その経験から、前向きな考え方と社会性を身に着けることができたと自負している。

今から出会うであろうたくさんの人たちや子どもたちに、食の楽しさや、大切さを伝えたい。そのためには周囲への配慮を欠かさず笑顔で人と接し、自分に誠実でいられるように生きていきたい。栄養教諭として働く自分を想像し、未来へはばたく一歩として日々を大切に過ごしていきたいと考えている。